

目次

まえがき

佐々木 嘉則・長友 和彦

特集号『第二言語習得・教育の研究最前線』発行にあたって…………… i—iv

序章 日本語の習得と教育：その研究の現状と課題

長友 和彦

JSL 習得研究の発展を願って：私的研究レビュー…………… 2—8

佐々木 嘉則

日本語習得研究の日米お家事情…………… 9—18

第1章 文法形式と機能の習得と使用

白井 恭弘

【解説】第二言語における文法習得研究とその教育的示唆…………… 20—27

峯 布由紀

Processability theory に基づいた言語習得研究…………… 28—44

齋藤 浩美

連体修飾節の習得に関する研究の動向…………… 45—69

菅谷 奈津恵

第二言語としての日本語のアスペクト習得研究概観：
「動作の持続」と「結果の状態」のテイルを中心に…………… 70—86

黒滝 真理子

日英対照・認識的モダリティの研究動向…………… 87—101

辛 昭静

「ら抜き言葉」の研究概観…………… 102—119

杉浦 まそみ子

日本語の引用表現研究の概観：習得研究にむけて…………… 120—135

小池 圭美

Focus on form と言語形式：
海外における研究の概観と日本語習得研究への提言…………… 136—149

第2章 語彙の習得

森山 新

【解説】語彙習得研究と認知言語学…………… 152—154

谷内 美智子

第二言語としての語彙習得研究の概観：学習形態・方略の観点から…………… 155—169

松田 文子

複合動詞研究の概観とその展望：日本語教育の視点からの考察…………… 170—184

第3章 音声の習得

福岡 昌子

【解説】日本語音声の中間言語研究の基本的課題：
長母音と短母音の習得研究から…………… 186—188

小熊 利江

日本語の長音と短音に関する中間言語研究の概観…………… 189—200

第4章 会話研究と言語習得研究

佐々木 泰子

【解説】日本語教育の、日本語教育による、日本語教育のための会話研究 202—204

金 志宣

Turn-taking 研究の動向："turn"と"turn-taking"をめぐる議論を中心に 205—221

陳 姿菁

日本語におけるあいづち研究の概観及びその展望 222—235

林 美善

電話会話における終結部研究の動向：日米・日韓を比較した研究を中心に 236—244

李 志暎

ビジネス日本語教育を考える 245—260

第5章 文章の産出と理解

西條 美紀

【解説】文章・談話の理解をめぐる問題 262—265

李 貞旼

文章論研究の概観 266—278

尹 松

第二言語・外国語教育における聴解指導法研究の動向 279—288

池田 玲子

第二言語教育でのピア・レスポンス研究：

ESL から日本語教育に向けて 289—310

第6章 言語学習と動機づけ

加賀美 常美代

【解説】言語学習における動機づけ 312—314

守谷 智美

第二言語教育における動機づけの研究動向：

第二言語としての日本語の動機づけ研究を焦点として 315—329

第7章 多言語・多文化社会における日本語教育と国語教育

清田 淳子

【解説】共生社会におけることばの教育はどうあるべきか 332—336

鈴木 京子

多文化教育としての LOTE 教育の構築に向けて：

オーストラリアの日本語教育における近年の動向に関する一考察 337—353

原 みずほ

多言語併用教室の言語使用に関する研究：

日本における加算的バイリンガリズムの実現を目指して 354—367

村松 賢一

【依頼論文】国語科におけるコミュニケーション能力の育成：

音声言語教育の現状と課題 368—380